

(別添資料1)

事業所名 サンクスラボ・アフタースクール熊本

支援プログラム(参考様式)

作成日 令和7年 3月 14日

法人(事業所)理念	<p>グランドビジョン Ground Vision 理想とする社会の象徴/大きなビジョンであり世界観 「誰もが可能性を感じ合える社会へ」</p> <p>バリュー Value 社会・地域・顧客・タレント・パートナー・チーム・自分への提供価値 「期待を超えた、可能性への気づき」</p> <p>無限クレド Mugen Credo 大切に考える方や働き方(行動方針) 「∞クレド」</p> <p>スローガン Slogan 楽しむために、超えていこう 「Beyondjoy(ビヨンジョイ)」 ※Beyond(超える)とEnjoy(楽しむ)の造語 不安なとき、どうにかしたいとき、もっとやれそうなきの合言葉</p>																
支援方針	<p>(1) 当事業所は、障害児(以下「利用者」という。)、障害児の保護者(以下「通所給付決定保護者」という。)及び利用者の家族(以下総称して「利用者等」という。))の意志及び人格を尊重し、常にその立場に立って支援を提供する。 (2) 事業所は、利用者が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 (3) 当事業所は、地域及び家庭との結び付きを重視し、関係機関等との密接な連携に努めるものとする。</p>																
営業時間	<table border="1"> <tr> <td>平日</td> <td>9時</td> <td>30分</td> <td>から</td> <td>18時</td> <td>30分</td> <td>まで</td> <td rowspan="2">送迎実施の有無</td> <td rowspan="2">あり</td> </tr> <tr> <td>学校休業日</td> <td>9時</td> <td>00分</td> <td></td> <td>18時</td> <td>00分</td> <td></td> </tr> </table>	平日	9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	学校休業日	9時	00分		18時	00分	
平日	9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり									
学校休業日	9時	00分		18時	00分												
支援内容																	
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心身の把握(体温測定、気分把握)を行います。 ライフスキルチェック、振り返りシートに取り組みでもらい将来の自立に向けて支援を行います。(必要に応じて個別用のスケジュールをスタッフと一緒に組み立てたり、個人用のスケジュールボードを用意したりします。) ホワイトボードに全体スケジュールを提示し、一日のスケジュールの見通しやすくする等の支援を行います。(必要に応じて個別用のスケジュールをスタッフと一緒に組み立てたり、個人用のスケジュールボードを用意したりします。) 時間に応じた行動の切りかえができるようになるために時計やタイムタイマー等を活用して支援していきます。 クッキング(昼食・おやつ)を通じて食育を育んでいきます。 余暇(自由)時間の過ごし方について活動の提案や提供等を行うことで自立に向けたサポートを行っていきます。 <p>活動例：リボン結び(生活の基本スキルを身につける)、クッキング(料理、お菓子作りを通じた食育)、振り返りシート(自分の特性や身体状況について理解し、それが及ぼす生活上の困難について理解して自分の行動や感情を整理したり、より生活しやすい環境にしていくための支援を行う。)、ライフスキルチェック(食事や睡眠、身の回りを清潔にする事などの生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する)</p>															
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ストレッチやラジオ体操、エクササイズ、体幹トレーニングを通じて粗大運動(感覚)を養っていきます。 折り紙やハサミを使う制作活動、ペットボトルキャップ積み等の活動を通じて微細運動(感覚)を養っていきます。 ビジョントレーニングを通じて眼球と手先の協調性を養っていきます。 学習に集中しやすいように卓上(学習)パーテーションを使用する等の環境設定を行います。 感覚過敏に対する配慮としてアイマスクやイヤマフ等を使用することもあります。 <p>活動例：キャビラ(特に手足の運動)、聖徳太子ゲーム(聴覚からの情報処理を鍛える)、消しピン(手指の運動を促す)、クッキング(手指の運動を促す)、リボン結び(手指の運動を促す)、スライム作り(手指の運動を促す)等</p>															
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> タイムテーブルの確認による時間の認知形成を行っていきます。 粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成を行っていきます。 ブロック遊びによる空間把握の認知形成を行っていきます。 小集団でのゲームでの適切な行動形成を行っていきます。 <p>活動例：スライム作り(感覚を鍛える)、1人でできたゲーム(数の認知の形成)、リボン結び(空間認知を促す)</p>															
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> SST、話し合いの活動、お話作り、5W1Hを意識した文章作成等を提供します。 <p>活動例：早口言葉、ジェスチャーゲーム、お話作り(相手に伝わるよう文章を組み立てることができるようになる)、言語トレーニング(正しい発音が出るようトレーニングを行う)</p>															
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ルールの理解が必要な遊びや集団活動を提供します。(トランプ等のゲーム) 地域施設などへの社会見学に行きます。(消防署見学など) イベントなどを通じた地域との交流に出かけます。(防災こくたい、城彩苑など) SSTに関してプリントで学習したり、スタッフや他者との会話から学んだり、事柄が起きた際に皆で話し合いの場を設けたりします。 <p>活動例：聖徳太子ゲーム(遊びを通して社会性を発達させる)、外出レクリエーション(公共の場でのルールや振る舞いを覚える)、消しピン(遊びを通して社会性を発達させる)、振り返りシート(感情が崩れたり不安になった時に、大人が相談にのることで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるようになる。)、ライフスキルチェック(自分のできる事や苦手な事など自分の行動特徴を理解し、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動が出来るようになる)</p>															
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援に関する保護者宛て文書を作成・配布し家庭での療育についての相談に応じます。 定期的に保護者面談を実施し、必要に応じて情報の提供等を行っていきます。 保護者も参加可能な行事を行い保護者同士が交流し、情報交換や悩みを共有できる場を提供します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関(主に利用児童が通う学校)と連携を図り必要に応じて事業所参観に来て頂いたり、学校で開催される会議に参加して情報の共有や交換等を行っていきます。 														
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 同じエリアにあるA型事業所と連携を図り、利用児童の将来を見据えて見学や体験等の活動に参加します。 地域を巻き込んだ行事(活動)等も取り入れていきます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修はもちろん外部で開催される研修等に積極的に参加し、より良い療育支援を目指していきます。 保護者の方のご意見やご要望等を傾聴し、追ってご返答させて頂く対応を丁寧に行っていきます。 職員全員が統一した支援や対応ができるよう努めてまいります。 														
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節に応じた行事を行います。(その中で由来や名称等行事の中身に関しても説明を行っていき、知識等を身につけていきます。) 職員会議にて行事について検討、見直しを行います。 																